| 教科名 | 保健体育 | 学年 | 第２学年 | 教科担当者：田中・江崎・木嶋 |
|---|---|---|---|---|

≪学習目標≫

①体力向上と健康の保持増進を図る
②運動や健康安全についての理解を深める
③体を動かす爽快感や達成感を味わい、仲間とのふれあいの中での団結力を育成する

≪年間授業実施計画≫

| 月 | 単元名・教材名等 | 学習内容・項目等 | 学習ポイント・その他 |
|---|---|---|---|
| ４ | ・陸上競技Ⅰ　※リレー | | ○技能や記録の向上を目指し、自分の課題を理解し、解決策を見つけることができるようにする。<br>○仲間と協力し、活動できる。<br>○自分の意見を伝えること、仲間の意見を聞くことができる。<br>○学習カードに自分の取り組みや今後の課題等を具体的に記入できる。<br>○今後の自分の生活にどう役立てることができるかを考えながら、学習することができる。 |
| ５ | ・体つくり運動<br>・球技Ⅰ | | |
| ６ | ※バレーボール、ソフトボール<br>・水泳（評価については２学期） | | |
| ７ | ・体育理論、保健 | ○理論：運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方<br>○保健：傷害の防止 | |
| ８ | | | |
| ９ | ・体つくり運動<br>・器械運動　※マット、とび箱 | | |
| １０ | ・陸上競技Ⅱ<br>・球技※ハンドボール、バドミントン | | |
| １１ | ・武道<br>※剣道（評価については３学期） | | |
| １２ | ・体育理論、保健 | ○理論：運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方<br>○保健：傷害の防止 | |
| １ | ・体つくり運動<br>・ダンス | | |
| ２ | ・球技Ⅱ<br>※バスケットボール、サッカー | | |
| ３ | ・体育理論、保健 | ○理論：運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方<br>○保健：健康な生活と疾病の予防② | |

≪評価の観点および具体的な評価方法≫

**観点１「知識・技能」　観点２「思考・判断・表現」　観点３「主体的に学習に取り組む態度」**

| 評価の観点 | 具体的な評価方法 |
|---|---|
| **観点１** | ①基本的な知識や技能の習得<br>②実技テスト・記録<br>③単元テスト（※定期テストでのペーパーテストはおこないません） |
| **観点２** | ①論述やレポートの作成・学習カード・発表　等<br>②ペアやグループでの話し合い活動<br>③単元テスト |
| **観点３** | ①粘り強く学習に取り組む態度<br>②授業での観察等<br>③自ら学習を調整しようとする態度 |

【その他】

・単元テスト等の成績や提出物、授業中の態度に応じて評価を行います。

・学年末評定は１学期～3 学期の成績を総合的に判断し、出すことになります。

≪教科の約束事≫

１．約束事

・明るく元気に活動しましょう。

・安全第一です。怪我なく安全に活動できるように、ルールやマナーを守りましょう。

・話を聞く時間と活動する時間のメリハリをつけましょう。

・仲間と協力し、苦手なことや、記録の向上を目指し何事にも挑戦しましょう。

２．持ち物

筆記用具・実技の教科書・保健の教科書・ファイル・学習カードを基本とする。

３．見学者について

・見学をする者は「生徒手帳」またはそれに変わるものに保護者が記入・捺印、朝学活時に担任に印をもらい、授業開始時に担当教師に見せ許可を得る。

・学校で具合が悪くなったときは、養護教諭から保健室からの連絡を提示する。

・参加出来なかった種目や単元テストはレポート等で補講する場合がある。(必須ではない)